

決算審査特別委員会 全議員で「成果」をしっかりと審査！

9月定例会会期中の9月13日、14日議員全員で構成する決算審査特別委員会を開催し、令和2年度決算について審査を行いました。
委員長に菅澤環委員、副委員長に行橋千春委員が選任されました。
ここでは質疑の一部を要約してお伝えします。

詳しい内容は
こちらの録画中継から→



菅澤久委員 前年度と比較すると約

取り組みは

ふるさと寄附金増額への取り組みは、企画空港政策課長 映画2件、テレビ番組1件、プロモーションビデオ1件の計4件の撮影が行われました。

撮影協力の詳細は

行橋千春委員 本町で行われた撮影の詳細は、生涯学習課長 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発令により、4、5月に施設を休館したことが一番の大きな理由です。

使用料大幅減の要因は

橋本孝之委員 教育使用料の収入（町民プール、コミュニティプラザ、文化ホール、町民体育館）の大幅減額要因は、



菅澤環委員長

一般会計

佐藤利治委員 運行状況、感染症防止対策の状況は、

通園バス購入後の状況は



4月にオープンした大三川邸

管澤久委員 工事費5500万円のうち町の負担額とその回収は、地方創生課長 工事費のうち2分の1の2750万円が地方創生推進交付金、残り2750万円が町負担ですが、町負担分を運営会社より20年で回収できるような契約をしています。

古民家再生工事の町負担額は

4800万円の増加となったが、今後の取り組みは、財政課長 返礼品の充実や返礼品カタログの活用、また魅力ある返礼品の開発に努め、さらなる寄附金増額を目指していきたいと考えています。

石渡悦子委員 国が進める個人番号カードの本町の現状は、住民課長 3月31日現在で、申請件数が4086枚、交付済み件数が3069枚、人口に対する申請割合が28・4%です。

個人番号カードの現状は

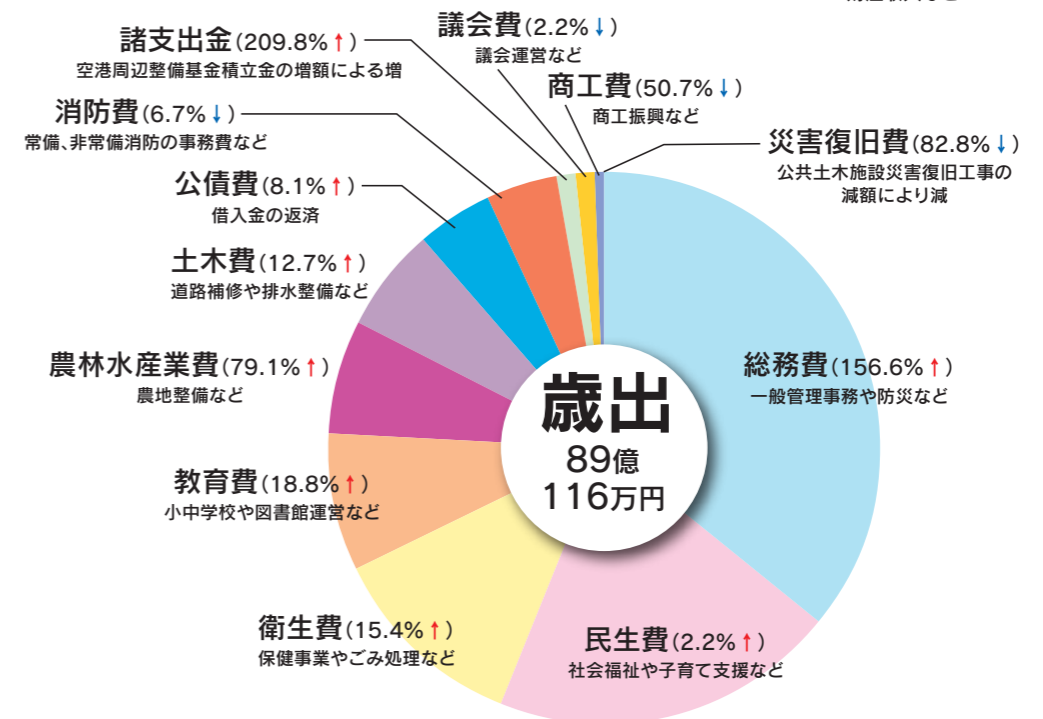
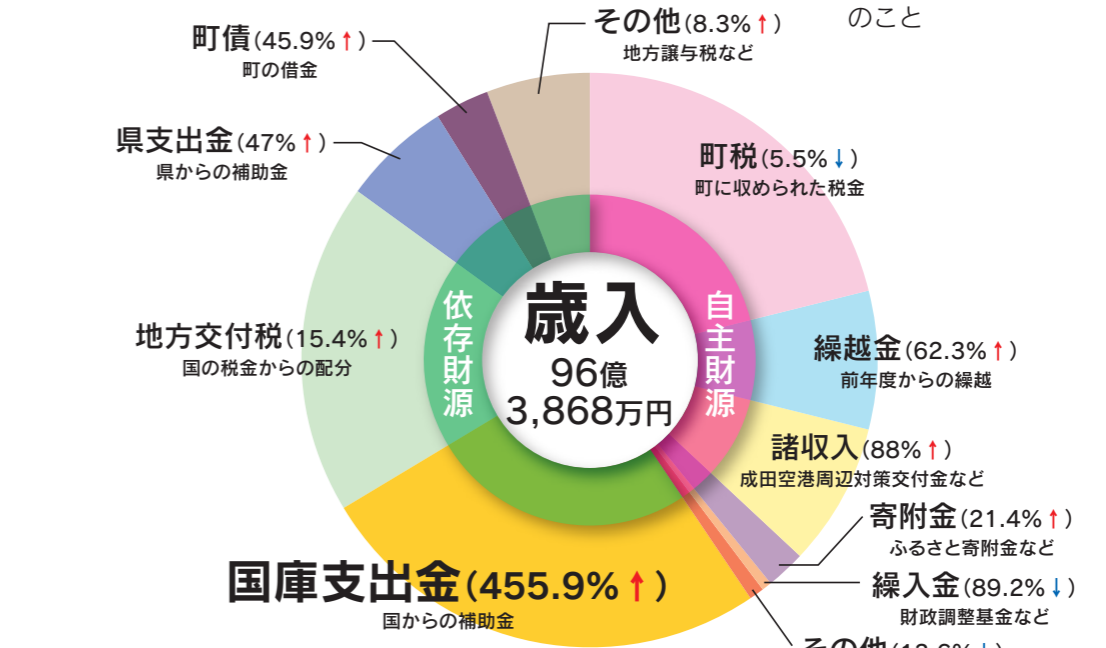


子ども達の安心安全のために

子ども園事務長 2台増やし、8台体制としたことにより、1台あたりの園児数を減らし、乗車時間を短縮することができました。体温の確認、手指消毒、換気を行い、座席の前後に飛沫防止ビニールシートを設置したことで、感染リスクを下げる事ができました。と思っています。

依存財源…主に国や県から交付されるお金のこと

自主財源…町が自ら集めることができるお金のこと



町の財政状況は？

※()内は前年度比 ※県内町村平均はR1のもの

自立力は？ 自主財源比率 40.8% (↓15.1) 前年度に比べ15.1ポイントのマイナス。	財政力は？ 財政力指数 0.606 (↓0.003) 県内町村平均 0.53 数値が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い。	余力は？ 経常収支比率 90.1% (↓1.0%) 県内町村平均 92.1% 数値が低いほど財政の弾力性が高く、余力がある。	借入金の負担度は？ 実質公債費比率 5.1% (↑0.6%) 早期健全化基準は25%。
--	--	--	--

監査委員の意見 質の高い行政サービスを評価

- 新型コロナウイルスの影響が続く中、質の高い行政サービスの提供ができたこと認められる。
- 引き続き財源確保と適正な未収金対策の実施を。
- 徴収不能または徴収困難が明白な債権は不能欠損処分を適正に行うよう努められたい。